

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( ライフライン長野株式会社 )

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件において、差別しない体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・社内規定において、ハラスメント防止に関する規定を定めている。 ・社内研修を行い、相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・1年単位の變形労働時間制とし、所定労働時間は1年を平均して週42時間を上限とする労使協定を結び、協定書を所轄労働基準監督署長に提出している。 ・社員一人ひとりの時間外労働時間や有給休暇取得状況を毎月集計し、経営層に報告している。 ・DX化に取り組み、業務の効率化を目指している。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	・過去に採用実績はないが、機会があれば積極的に登用したい。			4.4					8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)を認証取得している。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月安全衛生パトロールを実施するとともに、安全衛生について報告や注意喚起を全社員に向けて発信している。 ・毎年2月に安全衛生大会を実施し、安全衛生に関わる1年間の事例を報告し、安全意識の啓発と向上に努めている。 ・工事現場では、毎朝朝礼を行い、危険予知活動を実施している。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・毎年、メンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的として、ストレスチェックを実施している。 ・必要に応じて、産業医との面談を行っている。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・障がい者の法定雇用率以上の障がい者を雇用している。 ・61歳の定年以降も本人の希望により再雇用を行っている。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・新入社員研修や特別実務研修、社内研修のほか、社外の各種機関が行う実務的かつ専門的な講習会への参加など、社員教育機会を全社員に提供し、費用を会社が負担している。 ・業務上必要な各種資格試験に関わる費用を会社が負担している。			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・原則に沿って対応し、労使協定を結んでいる。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・毎朝、ラジオ体操を実施している。 ・年に一度のストレスチェックにより、社員がメンタルヘルス不調に陥らないよう、未然に対策を講じている。			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・産業廃棄物のマニフェスト管理を適正に実施している。 ・電子マニフェストを導入し、DX化を推進している。										11.6	12.4		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・Zeroborad社が提供している「CO2排出量見える化」システムを利用し、自社のエネルギー使用量やCO2排出量を把握している。 ・「長野地域脱炭素推進協議会」に参画し、温室効果ガス抑制に向けた活動を推進している。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・ガソリン使用量、ガス使用量、電気使用量、水道使用量等を毎月測定し、記録するとともに、結果を長野市生活環境部に報告している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・接着剤、塗料、その他(アセトン等)の使用にあたり、適正な使用方法と作業手順を遵守するとともに、製品安全データシート(SDS)の保管をしている。 ・化学物質管理者を専任して、化学物質の使用を管理している。			3.9		6.3						11.6	12.4					





上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
くるみん認定	・所定外労働の制限等を法定の3歳未満から未就学児を持つ社員に上限を引き上げている。					5			8									
社員の子育て応援宣言	・2時間単位の有休取得を可能とし、家庭の事情を考慮した勤務ができるようにしている。					5			8									

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
  - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
  - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定